

## 第12回日本禁煙科学会学術総会in島根 より

NPO法人禁煙ねット石川  
副理事長 福田太睦

第12回日本禁煙科学会学術総会が、「健康経営で生涯現役！～『たばこ白書』を活かして全国発信～」をテーマに、10月28日、29日の2日間にわたって松江市の「くにびきメッセ」で開催され、NPO法人禁煙ねット石川からは遠藤理事長、福田副理事長、横山理事の3名が参加しました。

会長は「NPO法人しまね 子どもをたばこから守る会」の理事長をされている松江記念病院健康支援センター顧問の春木宥子氏で、全国より多数が参加し多くの発表がありました。

遠藤理事長からは「成人式アンケート結果と受動喫煙防止法案に関する石川県の取り組み」の発表がありました。

禁煙ねット石川が2010年から毎年の成人式で行ってきた新成人の喫煙アンケート調査の結果に基づいた小学校での喫煙防止教育の有効性と、2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催を機に厚労省が提案した受動喫煙防止法の強化案が、反対勢力により骨抜きとされるのを危惧し、石川県医師会とNPO法人禁煙ねット石川が「例外なき法案成立」を目指して県選出の国会議員各氏に順次に面談、要望申し入れたことを写真を交えて紹介されました。

当総会では毎回様々な発表がされてきましたが、このような発表は初めてではないかと思います。多くの会員から注目された発表でした。

毎回、会場で外国タバコパネルを展示していますが、今回も春木会長のご配慮で、メイン会場の入り口の横と、大変目立つ場所に展示できました。

